

<「知るっば！久留米」 令和3年10月21日(木) 12:30~放送分>

## 北野地域の魅力 ～第3回～ 「北野を楽しもう」

<ゲスト：久留米市地域おこし協力隊 井上 未央さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、久留米市の北東部に位置する『北野地域の魅力』をテーマにお送りします。

ゲストはこの方です。

ゲスト:井上さん(以下「井上」)

こんにちは!

久留米市地域おこし協力隊で、東部まちづくりプランナーをしている井上未央です。

よろしくお願いします。

坂本 よろしくお祈いします!

第3回目の今回は、『北野を楽しもう』というテーマでお送りします。

早速ですが、井上さんは久留米市地域おこし協力隊で

東部まちづくりプランナーをしていらっしゃるんですが、

リスナーさんが北野に観光や遊びに来たくなるような、おすすめ情報を教えてください。

井上 秋の北野と言えは、まずはやっぱりコスモスですね。

全長3.5キロのコスモス街道では、地域のボランティア団体の皆様が、熱い真夏に草を刈って、丹精込めてお世話をされたお陰で、今年もきれいに咲いてくれています。

坂本 コスモスは市の花なんですよ。

このコスモスがこんなに盛んになったきっかけ、いわれなどはご存知ですか?

井上 このコスモス街道は、昭和40年代に住民の角光(かくみつ)さんが、

まだ舗装もされずゴミ捨て場にされてしまっていた堤防をどうにかしたいと思って、

自宅前に10メートルほど種を蒔いたことが始まりだそうです。

坂本 一般の方ということですよ?

井上 そうですね、地域の住民の方ですね。

当時、奥様が女の子を妊娠しており、奥様と生まれてくるわが子と、

美しい故郷への想いから始まったコスモスの栽培は、年々距離を伸ばしていきました。

美しいコスモスと、角光さんの想いに心を打たれた地域の方々が次々に賛同されて、コスモスを愛する人の輪が「コスモス愛好会」として北野全体に広がりました。そして、コスモス街道と共に成長した娘さんは、笑顔の素敵な女性になり、平成7年10月に満開に咲き乱れるコスモスの中、白無垢姿でお嫁に行かれたそうです。

坂本 なかなかいいお話ですね。  
それに賛同して一緒に汗を流された地域の皆さんも、また素敵だなあとと思います。

井上 例年ですと、コスモスフェスティバルが開催されて、その中の一大イベントとしてコスモスウエディングが開催されます。幸せなカップルの新しい門出をたくさんの人でお祝いするのですが、新型コロナ感染症拡大防止ということで、昨年に続き今年も中止となっています。そして同じ時期に「筑後の土蔵」というイベントがあって、日本キルトの創始者・山口怜子さんの作品の展示や山口酒造場の蔵開きが催されるのですが、こちらもコロナの影響で中止になっています。

坂本 今年も新型コロナの影響でコスモスフェスティバルなどのイベントが開催できないのが残念です。早く収束して、これまでのような賑わいが戻るといいなと思います。  
北野といえば、北野天満宮も有名ですよ。

井上 そうですね。北野町の町名の由来になっている北野天満宮も外せないですね。  
天満宮は、1054年に建てられたそうです。  
1054年というと、平等院鳳凰堂が建てられた翌年ですね。  
奉られているのは、学問の神様で有名な菅原道真公です。  
京都から太宰府へ流される途中、追手から逃れるために、大分から筑後川を下り北野に来たそうです。  
そのころ、筑後川には河童がすんでいて、道真公と河童の逸話も伝えられています。  
そして、天満宮には今も河童の手のミイラが奉られているんだそうです。  
残念ながら、一般公開はされていません。

坂本 うー…怖っ、怖いですね。(笑)  
昔小さいころに見たことがあるんですが、細くて小さくって、これが河童の手なんだと思った記憶もあります。  
そんな天満宮は、他には何かありますか？

井上 10月の第3日曜日には、「おくんち」が催され、河童の化身の風流師を先頭に、可愛い稚児風流、大名行列を模した奴隊、最後にご神体を載せたお神輿が、約2キロほど離れた下宮まで下っていきます。  
また、「光の道」といえば宮地嶽神社が有名ですが、

実はここ北野天満宮でも、春分の日と秋分の日、参道から楼門へまっすぐに夕日が差し込み、光の道を見ることが出来ますよ。  
とってもきれいなので、機会があればぜひ見に来られてください。

坂本 実は私、見たことがあるんですよ。  
広報紙の取材でお邪魔したことがあって、参道でず〜っと待っていたら、非常に美しい光が差してきたんですよ。  
コスモスや北野天満宮以外にも、お話があればお伺いしたいのですがいかがですか？

井上 北野天満宮参道では、天然酵母の手作りパンのお店も人気ですし、曜日ごとで間借りのカフェをやっているところもあり、なかなか楽しいところですよ。  
また、北野はひそかに唐揚げ天国なんですよ。  
遊んで疲れたら、夕飯に唐揚げを買って帰るのもおすすめです！

坂本 そうそう、唐揚げね。  
昔、道の駅を担当していたんですけど、道の駅でも北野の唐揚げを売ってたんですよ。  
食べ物と言えば、私が好きなのは山汐漬けですね。

井上 やっとシーズンに入ってきましたね。

坂本 寒くなってからですよ。

井上 弓削校区で作られているんですけども、山汐菜は、まだ筑後川が暴れ川と呼ばれていた頃、大雨による洪水が起きて、山から流れて来た土砂に混ざっていた種が自生したのが始まりと言われてます。  
10月から3月までの期間限定のお漬物で、少しピリッと辛みがあり、知る人ぞ知る美味しいお漬物です。  
北野には酒蔵も2軒あるんですけど、地酒との相性も抜群ですよ。

坂本 お酒にも合うし、ご飯も何杯でもいけちゃいそうですね。  
北野は美味しい日本酒の酒蔵があるのは知っていましたが、それ以外にもいろんな美味しいものや珍しいものは何かありますか？

井上 もしかしたら私の周りだけかもしれないんですけども、「ドライガーデン」というお庭の造り方が流行っているみたいですね。

坂本 ドライガーデンというのはどういうお庭なんでしょう？

井上 多肉植物などを集めて造るお庭だそうです。

坂本 花が咲かなくて、面白い形の葉っぱが付いた植物ですね。

井上 それを目指してお庭造りをされる方に、是非お勧めなお店があるんです。  
男性向け雑誌のブルータスに載ったことがあるお店で、見たことがないような多肉植物や  
図鑑でしか見たことがなかった食虫植物も色々な種類が売ってあってワクワクします。  
お花屋さんは女性のお客さんが多いイメージかと思いますが、  
男性のお客さんも全国からたくさん来られますよ。  
興味のある方は、ぜひお越しください。

坂本 では、最後に北野に遊びに来ようと考えている方に、メッセージやアドバイスをお願いします。

井上 お店の数こそ少ないですが、少数精鋭と言いますか、名店揃いだと思っております。  
もちろんコスモスも楽しんで頂きたいのですが、  
コスモスだけじゃない北野も知ってもらえると嬉しいです。

坂本 コロナが収束したらたくさんのお客さんをお迎えしたいと思います。  
地域おこし協力隊の井上さん。興味深いお話をありがとうございました。  
次回は『地域おこし協力隊の活動』をテーマにお聞きします。  
お楽しみに。